

指定管理者制度導入施設 年度評価シート

評価年度

令和7年度

1 基本情報

公の施設名	相模原麻溝公園動物広場
指定管理者名	公益財団法人 ハーモニイセンター
指定期間	令和6年4月1日から令和11年3月31日まで(5年間)
施設設置条例	相模原市都市公園条例
施設の設置目的	公共の福祉の増進に資する。(都市公園法第1条) 市民の憩いの場及び市街地のみどりの創出を図る。
施設概要	◆相模原麻溝公園内ふれあい動物広場：動物舎12部屋490.55㎡、救護舎3部屋132.00㎡、ポニー舎1部屋340.52㎡、鹿舎1部屋90.00㎡、アライグマ・リスザル舎4部屋65.14㎡、牛・豚舎4部屋88.00㎡ 展示コーナー：常時30種以上の展示、ふれあい動物広場コーナー：常時5種以上配置、ポニー乗馬場：常時3頭以上配置
施設所管課	公園課

2 管理実績

項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
ポニー乗馬利用者数合計（人）	62,588	60,607	69,824	70,917			
ポニー乗馬利用料金合計（円）	8,049,860	7,761,390	8,969,870	9,114,430			

3 成果指標の達成度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
S	成果指標の達成度は全体平均で「141.8%」となっており「S評価」となった。 「ポニー乗馬」については、天候の影響を直接受けることから目標値は達成できなかったが、「動物フェスティバル」については、全ての指標において目標値を達成した。参加人数は前年度に比べて約8,000人増加している点は、高く評価できる。内容についても特別なプログラム等を実施しているため、動物広場に來た事がない方の利用のきっかけになっている。次年度以降も、新たな取り組みを企画し、利用者の増加に努めていただきたい。

指標1							
指標名（単位）	ポニー乗馬利用人数						
指標式と指標の説明	指標に対する過去の実績値から目標値を設定し、それに対する達成度を算出する。 達成度＝実績値/目標値						
項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値（人）	63,000	63,000	81,000	81,000	81,000	81,000	81,000
実績値（人）	62,588	60,607	69,824	70,917			
達成度（%）	99.3%	96.2%	86.2%	87.6%	0.0%	0.0%	0.0%

指標2							
指標名（単位）	動物フェスティバル参加人数（年2回の合計）						
指標式と指標の説明	指標に対する過去の実績値から目標値を設定し、それに対する達成度を算出する。 達成度＝実績値/目標値						
項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値（人）			8,000	8,100	8,200	8,300	8,400
実績値（人）	6,700	7,000	10,300	19,000			
達成度（％）			128.8%	234.6%	0.0%	0.0%	0.0%

指標3							
指標名（単位）	動物フェスティバルにおいて「命の尊さや動物飼育の責任の重さについて知識を深めた」と回答した人の割合						
指標式と指標の説明	指標に対する過去の実績値から目標値を設定し、それに対する達成度を算出する。 達成度＝実績値/目標値						
項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値（％）			80	80	80	80	80
実績値（％）			92	98			
達成度（％）			115.0%	122.5%	0.0%	0.0%	0.0%

指標4							
指標名（単位）	動物フェスティバルにおいて「また、動物広場に来ようと思った」と回答した人の割合						
指標式と指標の説明	指標に対する過去の実績値から目標値を設定し、それに対する達成度を算出する。 達成度＝実績値/目標値						
項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値（％）			80	80	80	80	80
実績値（％）			96	98			
達成度（％）			120.0%	122.5%	0.0%	0.0%	0.0%

4 事業の実施状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
S	事業の達成度は基準点に対する実績点の割合が「122.5%」となっており「S評価」となった。 計画事業に関しては、ほとんどの事業で目標値を大きく上回っており、リピーターも多いことから、利用者が再び訪れたいと感じるような運営ができています点が高く評価できる。 自主事業では、4つの新規事業を展開しており、どれも年齢制限を設けないことから幼児から大人まで動物と触れ合う機会を提供している。また、特別企画については、体験後特別缶バッジがもらえる等の特典があることで、来場のきっかけにもなっているため、施設の利用者数増加に寄与している点が評価できる。 今後も引き続き、利用者増加に向けた取り組みを継続していただきたい。

計画事業			
主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
ポニー乗馬	通年 (休場日除く)	2歳～小学校6年生が乗れるポニーの引馬。回数制限は無いので、1日に何度も乗ってくれる方も多い。ポイントカードの導入で繰り返し乗る子どもが増えた。馬にまたがることができれば、障害のある子も乗ることができる。 (参加者:70,917人)	◎
小動物とのふれあい	通年 (休場日除く)	モルモットの抱っこや、ウサギ、ヤギ、ヒツジとのふれあいができる。年齢制限は無いので赤ちゃんから高齢者まで利用可能。ポニーなどの大きい動物がまだ難しい方への、動物とのふれあいの最初のアプローチになる。大人の常連の方も多い。 (参加者:162,816人)	◎
動物の展示	通年 (休場日除く)	鳥類、爬虫類、哺乳類、様々な種類の動物を見ることができる。各動物舎に動物の説明看板も取り付けてあり、見るだけではわからない動物のことを知ることができる。小鳥達が放し飼いされ自由に飛び回っている中に入れる、ウォークインバードケージはとても人気がある。	○
ポニー教室	年6回 (各回5日間)	市内在住の小中学生が参加可能。内容は乗馬や馬小屋掃除・手入れ等。馬の世話だけではなく、毎回乗馬もできるので保護者の方からも喜ばれている。スタッフだけではなく、参加者と年齢が近いポニーボランティアも指導にあたっている点も好評である。 (参加者:300人)	◎
障がいのある児童生徒のためのポニー乗馬	月6回 (毎月第2・3・4土曜日の午前・午後)	市内在住4歳～中学生(障がい児)が参加可能。内容は乗馬・馬小屋掃除・手入れ等。参加人数は年々増え、学校以外での障害を持った子供たちの活動、交流の場となっている (参加者:294人)	◎
動物クラブ	6月～3月 (休場日除く)	小学校3年生～中学生が参加可能。ポニー以外のふれあい、展示動物の飼育体験、ふれあいコーナーの接客等を行う。異年齢の交流の場にもなっている。 (参加者:808人)	◎
動物フェスティバル	4月20日 10月5日	日常のプログラムの他、各種ゲーム、アトラクションを場内に設置し、普段とは趣の異なった動物広場を楽しんでもらう。動物広場に初めて来てもらうきっかけにもなっている。 (参加者:19,000人)	◎
登校をためらいがちな児童を支援するプログラム(はらっぱ)	9月9日 10月21日・28日 11月18日 12月16日 1月20日 2月3日・17日	登校をためらいがちな小中学生が対象で、ふれあいの動物、ポニーの飼育体験などを行う。一人ひとりの状況にあわせて、学校でも家でもない、新しい居場所に来るように心掛けている。実績数はまだ少ないので今後も広報活動が続ける。 (参加者:8人)	△

自主事業			
主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
子どもポニーボランティアの育成	通年 (休場日除く)	ポニー教室に参加経験のある小学1年生～中学3年生が対象。 ポニーの飼育管理、乗馬はもちろん、ポニー教室ではプログラムの中心的な推進役として活躍している。 動物フェスティバルでの乗馬演技披露なども行っている。 (参加者:1,817人)	◎
移動動物教室	通年 (広場業務に支障がないように)	ポニー・小動物を市内及び近隣市町の公共施設に派遣。 学校の授業の一環として、また、動物広場へ足を運ぶことが難しい方の普段の活動場所(福祉施設等)でのポニー乗馬、動物とのふれあいも提供している。 市民に動物広場を広く知ってもらう広報機会にもなっている。 (参加者:13件)	◎
さがみはらっこポニーキャンプ	年2回 (7月～11月)	市内在住の1年生～中学3年生が参加可能な宿泊キャンプ。 親元を離れ、動物広場とは違う場所での乗馬練習や、学校も学年も違う仲間との異年齢交流が経験できる。 参加者には大変好評だが、他のプログラムに比べて参加費が高くなるため、参加者は限られる。 (参加者:27人)	○
親子二人乗り乗馬	通年 (休場日除く)	2歳から小学3年生の子どもが保護者と大きいポニーに二人乗りが出来る。子どもが保護者と一緒に安心して乗ることができ、親子の思い出づくりとしても好評である。 (参加者:2,721組)	◎
動物のエサやり体験	通年 (休場日除く)	ふれあいコーナーの動物やポニーへエサあげ体験が行え、来場者が動物と近づくきっかけとなる。動物の体調を考えながら数を調整しているが、沢山の方に参加していただける大人気のプログラムとなっている。 (参加者:77,715人)	◎
大きいポニーへのエサやり体験	毎月3～4回	通常のポニー乗馬では乗れない、大きいポニーへの餌あげ体験。 子どもの目線では迫力を感じられ、特別感のあるイベント。 (参加者:1,242組)	◎
特別展示プログラム	通年 (休場日除く)	アクアリウムさがみはら(相模川ふれあい科学館)との施設相互の活性化を目的とした期間限定の企画展示で、水槽を設置し、淡水魚の展示を行う。アクアリウムさがみはらの管理指導のもと、暑い夏の時期に利用者に新しい動物広場の楽しみ方を提供している。	○
大人の乗馬プログラム (季節のプログラム)	5月11日 6月15日 9月15日 11月23日 1月12日 2月15日 3月14日	季節の行事に合わせた乗馬プログラム。 母の日や父の日、敬老の日等の行事に合わせて実施し、中学生以上を対象とした乗馬が行える。 (参加者:167人)	◎
健康づくりポニー乗馬	通年 (休場日除く)	16歳(高校生)から高齢者、要介護者等を対象とした、健康づくり、介護予防を目的とした乗馬教室。暑さの厳しい7月・8月を除いて、月3回の開催。 申し込み開始日に予約が埋まってしまうこともある人気プログラムで、「障害のある児童のポニー乗馬教室」を卒業した子の活動の場にもなっている。 (参加者数:79人)	○
特別企画「ハロウィン」	10月29日 10月30日 10月31日	季節の行事に合わせたプログラム。 仮装したポニーと写真撮影ができる。 ハロウィン特別缶バッジ付き。 去年に引き続き人気の企画になっており、来場のきっかけにもなっている。 (参加者数60組)	◎

特別企画「クリスマス」	12月21日 12月23日 12月24日 12月25日	季節の行事に合わせたプログラム。 サンタに扮したポニーと写真撮影ができる。 クリスマス特別缶バッジ付き。 去年に引き続き人気の企画になっており、来場のきっ かけにもなっている。 (参加者数:74組)	◎
特別企画「干支企画」	12月26日 1月4日 1月6日 1月7日	2026年が午年のため開催したプログラム。 和装したポニーと写真撮影ができる。ポニーにまた がった撮影も可能。1回の撮影で2パターンまで。 (参加者数:92組)	◎
特別企画「ヒツジ毛刈りショー・毛刈 り体験」	5月15日	暑くなる前に行うヒツジの毛刈りをショー形式で実施。 毛刈りの必要性やヒツジの生態について説明しながら 行う。普段は見られない光景なので来園者にも好評。 希望者にはショーの後に来園者に毛刈り体験をしてもら う。 (参加者数:68人)	◎
ポニーブラッシング	通年 (休場日除く)	小さいポニーのブラシがけ体験。ウシのブラシがけ体 験を停止したことに伴い、代替プログラムとして開始し た。年齢制限は無いため、ポニーに乗れない2歳未満の 子も参加ができる。 ただブラシがけをするだけではなく、ブラシがけのメ リットなど、ポニーの知識も一緒にレクチャーしている。 (参加者:552組)	◎
カピバラの餌やり	1月から通年 (休場日除く)	週1回開催。小松菜やキャベツをカピバラにあげられる 餌やり体験。小さい子でもできるように、トングを使っ て行う。普段は展示のみのカピバラと距離が近くなり、 参加者からは好評をいただいている。 (参加者:75組)	◎
モンキーランチ	12月から通年 (休場日除く)	リスザルへの餌やり体験。金網越しに餌を手渡しであ げることができる。 (参加者:93組)	◎
あにまるタッチング	7月～9月 (休場日除く)	手のひらサイズの小さいカメや大きいケヅメリクガメ、 ドクターフィッシュを触ることができ、チャボの抱っこも できる夏季限定のプログラム。カメの甲羅に触れたり、 間近で歩く姿を見ることができる。(参加者:1,107組)	◎
ポニー乗馬スタンプカード	通年 (休場日除く)	(参加者:2,000人)	◎

5 利用者の満足度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	利用者満足度調査の達成度は「104.4%」となっており「A評価」となった。 再度ふれあい動物広場を利用したいと回答した人の割合が、全体の約90%を占めており、利用者が減少することもなく売上を伸ばすことができた。 今年度も、安定して高い実績値が続き、利用者のニーズに応じており、スタッフや管理者の対応の良さが伺えるため、評価できる。

利用者満足度調査	
調査手法/サンプル数	職員が直接アンケートを依頼、アンケートコーナーを設置/280部
目標値の基準	4段階評価のうち「とても思う」「思う」合わせて90%

項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値（%）	90	90	90	90			
実績値（%）	100	100	97	94			
達成度（%）	111.1%	111.1%	107.8%	104.4%			

その他の取組		
取組事項	時期	取組内容
ポニー教室 保護者アンケート	年6回 各回終了後	年6回開催するポニー教室終了後に保護者へのアンケートの回答を依頼した。 毎回、ほぼすべての保護者から回答を得ており、概ね好評を得ている。
動物クラブ 保護者アンケート	年1回 年度末	動物クラブの保護者に対し、期末にアンケートの回答を依頼した。 約9割の保護者から回答を得ており、概ね好評を得ている。
ご意見箱の設置	通年	窓口近くにご意見箱を設置し、意見を提出できるようにしている。

6 施設の経営状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	施設収支は本体事業収支が赤字、全体収支が黒字であり、本体の財務状況は良好かつ特段の課題はないため、「A評価」となった。

施設の収支概要		※直近3年間について記載（千円）		
項目		令和5年度	令和6年度	令和7年度
収入（a）		92,931	91,848	91,999
指定管理料		84,834	82,879	82,879
利用料金収入		7,761	8,969	9,114
その他の収入		335	0	6
支出（b）		95,563	101,285	104,410
人件費		59,382	63,709	66,107
本社管理経費		6,533	8,192	9,744
その他の支出		29,648	29,384	28,557
本体事業収支【(a)-(b)】(c)		-2,632	-9,437	-12,411
自主事業収入（d）		13,908	24,723	27,972
自主事業支出（e）		13,270	14,395	15,111
自主事業収支【(d)-(e)】(f)		638	10,328	12,861
全体収支【(c)+(f)】		-1,994	891	450
備考				
団体の財務状況	団体本体の経営状況について特段の問題はない。			

7 管理業務の履行状況

検査方法	市チェックリストに基づき、指定管理者へのヒアリング・現地確認により検査を実施	
実施時期	令和8年3月	
検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

8 ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成	有
-----------	---

ウェブアクセシビリティの取組項目	取組状況
機種依存文字を使っていない。	○
ページ内の文字の大きさを変えることができる。	○
単語の途中にスペースや改行を入れていない。	○
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。	○
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。	○
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。	○
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。	○
その他取り組んでいること	ホームページ及びInstagram、フェイスブックでイベント情報の発信を行うとともに、日々の動物の様子も発信している。また、Instagramのストーリー機能を用いて、リアルタイムの情報発信にも努めている。

9 指定管理者の自己評価

ポニー乗馬については、夏季の酷暑や主な利用者である未就学児人口の減少により厳しい状況が続くなか、リピーター獲得に繋がるポイントカードの定着や、SNSでの定期的な情報発信などにより前年度と同様の利用者数を維持できている。また、新たに始めた3つの自主事業（カビバラの餌やり、モンキーランチ、ふれあいタッチング）や干支にちなんだ特別企画等の実施により、来場意欲の向上に繋がったと考える。参加型プログラムに需要があるとみて、今後も利用者の希望に沿うようなものを考えていきたい。公式ブログのアクセス数が前年度に比べ10万件も増加していることから、SNSを通じて関心が寄せられていると考え、今後も定期的な情報発信に努めていきたい。

10 所管課意見

成果指標については、昨年度と比較して、「ポニー乗馬」の利用者数の伸びは小さかったが、「動物フェスティバル」の利用者数は約80%増加していたため、引き続き利用者に寄り添った運営等に努めていただきたい。

新たに始めた3つの自主事業（カビバラの餌やり、モンキーランチ、ふれあいタッチング）については、年齢制限のない企画であったため、来場意欲の向上に繋がったと考える。また、オリジナルグッズの販売にも力を入れていたことから、再度足を運ぶ人の集客にも繋がったと考える。参加型プログラムやグッズ販売に需要があると考えるため、今後も利用者の希望に沿うようなものを考えていただきたい。

施設の収支状況については、黒字に転じている点について大いに評価できる。

気象現象や気温の影響が利用者数に影響する部分があったが、SNSのアクセス数が前年度より大幅に増加しているため、引き続き積極的な情報発信を行っていただき、利用者数の増加に繋げていただきたい。

11 選考委員会意見

予算の確保が難しい中で、人件費の上昇にも対応されていることは、非常に高く評価したい。引き続き、事業を円滑に進められる環境を維持しながら、今後も尽力いただきたい。

新規事業の「カビバラの餌やり」や「モンキーランチ」等の体験型のプログラムについては、大人も子どもも楽しめる、時代に即した企画を実施していただいたことを高く評価している。今後も適切な運営をお願いしたい。

すべてがA以上となったことから、指定管理者の努力の成果がうかがえる。いくつか報告されている事故については、引き続き注意を払っていただき、評価を維持していただきたい。

樹木については植栽調査を実施していただき、危険箇所を中心に専門の方に確認していただく等、引き続き適切な管理をお願いしたい。

